

「海の生物」西島実習

令和7年2月18日（火）午後、2年生の学校設定科目「海の生物」選択生徒5名（引率教員1名）が「兵庫県立いえしま自然体験センター」で養殖海苔や天然アオサの観察を行い、海藻の生活史や生態について学習しました。

センターに到着すると、季節風が強く、予定していた海苔養殖場見学はできませんでしたが、センターの方から海苔の養殖方法・種類・生活史・家島諸島付近の海苔養殖漁場についての資料をいただきました。また、12月に採取していただいた養殖海苔の形態・色合い・特徴について観察しました。養殖海苔の葉体を冷凍保存したもので、生徒各人が葉状体を顕微鏡を用い、細胞の大きさや色合いを観察しました。

その後、センターの砂浜で海藻を採取し、アオサの葉状体も同様に観察して、養殖海苔と比較しました。

海苔はつやがあり黒いほど価格が高いとされています。今回の実習を通して、海苔の色合いは海水の栄養塩量が深く関与していることが分かり、養殖海苔の色落ちと海水の貧栄養化の関係など、今後の海苔養殖の現状と課題に興味・関心を持つことができました。



全体説明



養殖海苔の葉体観察



海藻採取



顕微鏡観察